

子ども司書NEWS NO.3

令和3年12月1日発行 廿日市市教育委員会・はつかいち市民図書館

令和3年度「子ども司書」養成講座の「秋の活動」が終わりました。

春から秋にかけて研修を受け、学校や地域の図書館で「秋の活動」を行い、すべての条件をクリアした子どもたちは、2月に「子ども司書」の認定証がもらえます。

秋の活動の様子

POPの飾りつけ



本の装備・修繕



本の貸出・返却・配架

夏休みの実地研修と同じように、地域の図書館で本の貸出・返却・配架（返ってきた本を棚に戻す仕事）をしました。



しっかりパソコンの画面を見ながら返却処理を行っています。



返ってきた本を請求記号順に本棚へ戻しています。

本の装備・修繕

本が長く読めるように透明なブックカバーをつけたり、壊れた本をまた読めるように直したりしました。



本につけるブックカバーを切っています。



破れた絵本にテープを貼って直しています。

子ども司書養成講座年間スケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	2月
全体研修①	実地研修 (地域の図書館)	秋の活動	(地域の図書館)	おみこ(学校)	認定式



学校と地域の図書館で秋の活動を行いました



POPの飾りつけ

子ども司書の活動の中で作ったPOP（おすすめの本を紹介するカード）をボードに貼りつけました。レイアウトを考えるグループと、見出しを作るグループに分かれて、手分けして作業を行いました。



レイアウトを考えています。



「子ども司書おすすめの本」の見出しを作っています



飾りを作っています。



完成しました！

子ども司書たちのPOPとおすすめの本は、

令和4年1月5日（水）から26日（水）まで

はつかいち市民図書館の中央通路で展示します！



子ども司書の感想

本の読み聞かせをするのが初めてだったけど、すごくよかったのでみんなにたくさん読み聞かせてあげたい。

私は、今まで「本を借りて本を楽しむ」ということしかしていなかった。でも、この研修で、私が本を楽しめているのは、司書の方たちのおかげだと学ぶことができた。

カウンターの仕事では、返却のときにたくさんの方が来て少しあせったけど、だんだんと慣れてきて利用者が来ても対応できるようになった。貸出しはカードを先に返して、利用者が先にカードを収めやすいように工夫されていて感心した。

本の大きさや角度を考えながら読み聞かせをしななければいけないことを知ることができた。

読み聞かせでは、本を読む速さや声の大きさ、読むのに必死で絵が見えにくくなっていないかなどに気を付けて読んだ。

読み聞かせでは、自分が聞いたらおそいなと思う速さも小さな子にはちょうどよかったりしたので、ゆっくり読むことが大切だと分かった。

図書館の仕事は、貸出し・返却の手続きをするだけだと思っていたけど、実際は返却された本の中身を確認して分類したり、元の場所に戻したりとたくさんの仕事があることを知った。また、本を探す人が分かりやすくなるように工夫していることを知り、感謝の気持ちをもとうと思った。